広報かしわ

47. 4. 15
（No. 2 5 3）
毎月1日，15日発行
発行：柏　市　役　所
編集：市長公室広報広聴課

人のうごき

人口
163,421人（前月より＋576）
世帯
44,543戸（前月より＋192）
（47.3.31現在）

ジャンボ北柏団地着工間近

豊四季団地の３倍に
完成は昭和51年予定

＝北柏団地完成予想図＝
田や畑が整備されて近代的な住宅地に生まれかわります

◇　広さは、豊四季団地の約三倍百九・九ヘクタール、計画人口が二◇
◇　万人という北柏団地が昭和五十一年の完成目ざして、市内松ヶ崎・◇
◇　花野井地区を中心に日本住宅公団によって進められています。これ◇
◇　が完成すると公団が開発する市内で四番目の住宅団地が誕生する◇
◇　とになります。

人間尊重を第一に
歩行者専用道も

北柏住宅団地は、松ケ崎、花野井、若柴、十余二、宿連寺、根戸のそれぞれの地区の一部にわたり東西約二キロメートル、南北二キロメートルにおよぶ大規模なものです。この地区は、市の中心部から北方へ三キロメートル、西側を国道十六号線、南側約〇・八キロメートルに国道六号線が通り、住宅地域として交通の便もよく、周辺の自然環境にも恵まれているところです。

区画整理事業で
計画的な市街地に

事業は、都市計画事業として昭和四十三年十二月に区域が決定され、区画整理によって開発されます。

この宅地開発は、無秩序な市街地の形成を避けるため計画されたもので、健全で住みよい環境が整備された新しい住宅地を造成するものです。

計画によると、団地のほぼ中心部を南北に幅九メートルの区画道路が通り、また幅十六メートルの循環道路をメインストリートとして、幅四メートルから九メートルまでの区画道路がタテ・ヨコに整然と伸びています。さらにこの団地の動脈となる計画道路は、国道六号線を横断して北柏駅南口広場に通じています。団地の特色は、東西に二つの住宅地区を設け、人間尊重の立場から歩行者と車を分離して交通の安全を図るとともにこの地区に住む人たちが、いろいろな施設を快適に利用できるように、住宅地区を結ぶ幅四メートルから十メートルの歩行者専用道路が計画されています。

この団地地区の中央部には、小中学校や市役所出張所・児童館・郵便局などの公益的な施設やショッピングセンターが設けられ、商業や交通、行政などの都市機能の施設が集められて、コミュニティーづくりが配慮されています。

地区東部の住宅区域にもショッピングなどのためのサブセンターが設けられ、密度の高い生活機能の充実が図られるようになります

いよいよ水路の整備も始まった北柏団地区域

公園・緑地もたっぷりと

施設では、小学校二校、中学校一校の教育施設のほか、市役所出張所、児童館、郵便局、消防署などの行政施設、銀行、スーパーマーケット、小売店舗などの商業施設、保育所、診療所の厚生施設が整備されます。

地区のほぼ中央に約三・八ヘクタールの近隣公園が設けられるほか、児童公園が六カ所、地区南部には緑地が設けられて、自然を多くとり入れた〝緑の住宅地区〟を目ざすことになります。

上水道は、給水人口二万人、一人一日最大給水量四百五十リットルを見込み、地区内に計画している市営水道の第五水源地の浄水場から地区全域と、その周辺に供給されます。

下水道は、汚水と雨水に分けた分流式で、雨水は地区中央を流れる水路に放流されます。

汚水は、延長千メートルにおよぶ排水管を通して現在計画されている手賀沼流域下水道に接続されるようになります。

入居者は
2万人を予定

公団住宅は、鉄筋コンクリート五階建の予定で、その他民有地をあわせ人口は二万人近くの入居が見込まれています。また、建物と建物の間は、樹木が植え込まれて住みよい生活環境となっています

地区内の人口密度は、一ヘクタール当り約百八十八人と、現在の豊四季団地の約四百八十人にくらべてゆったりとした広さとなっています。

交通はバスで
北柏駅へ

この地区の通勤輸送には、常磐線増工事にあわせて、昨年四月に開設された北柏駅南口までバスが通り、利用されることになります。

区域周辺の
発展にも期待

北柏団地は、現在田や山林、原野であった部分にこのようにすべての都市施設が整備された理想的な住宅地となるとともに、区域周辺にもより健全な市街地が形成されて発展することが期待されています。

また、北部地域は、現在柏市が進めている北柏駅南口の区画整理事業とあわせて、北柏駅を拠点に急激に発展することが予想されています。

整然とした豊四季団地とショッピングセンター

期季雑感

市長　山澤諒太郎

今年は例年になく桜の開花が早く、四月二日の日曜日が丁度見頃であった。市内曙山公園の桜も、恒例行事の桜まつりを待たず一斉に開花してしまって、関係者をあわてさせていた。どこかの市も晴に褒を散布して開花を遅らせるよう対策に大わらわであったと聞いたが、自然はときどき、いたずらをする。

四月一日、新年度を迎えるにあたって、職員に訓辞をした。

昨年度を顧りみると、懸案だった二面ホームも着工され、十月迄には完成する予定であり、又柏駅東口再開発事業も順調に進捗し着工の運びとなり、その他の事業も予定どおり進んだことは、職員の努力によるものと感謝した次第である。職員も年々増加し、千四百名を数えるに至った。私は常々人件費が対市税収入の半ばを超えることは、財政上芳ばしくないと戒めてきている。だが各種施設の充実、行政需要の増加に伴い職員数の増加もやむをえないところであるが、事務改善により少しでも職員数の増加を押えることができれば、それにこしたことはないし、また、行政上の情報資料収集の迅速化、適確化が要求されている今日であるので、全庁的な事務改善に取組む方針を示し担当職員はもちろん、全職員が改善意欲を起し、創意をこらして成果をあげるよう協力と努力を要請した。また、四十二年九月に策定した本市将来の基本計画を手直しして、より市民の生活に密着した福祉構想を基本に据えて改訂したいと告げた。

春の交通安全運動が六日から始まった。当日、婦人交通指導員全員が市内をパレードし、交通安全の啓蒙を行なった。今年も三千五百名におよぶ児童が新入学したが、一人も事故なく、明るく楽しく勉強できるよう祈願する次第である。私はこの子たちを事故から守るため、交通指導員も五十名に増員するほか信号機、ガードレールの設置をはかるなど、積極的な施策を講じる考えである。窓外に見る春の花々、年々相似て美しく、眺める人年々相同じからずなどと想いつつ、筆を擱いた。

47年度の市予算のなかみ

157億7786万円の大型に

4月に開校した西原小学校

一般会計 七十八億九千五百万円
特別会計（上水道含） 七十八億八千二百八十六万円

一般会計予算をみると、歳入では、市税が全体の四十・五%を占め、ついで市債の十九%、国庫支出金の十三・九%、地方交付税の十・一%の順となっていて特定財源を積極的に計上いたしました。

昨年度と比較して伸び率の著しいものは、財産収入、繰入金、娯楽施設利用税交付金、繰越金、寄付金などで、増加額の著しいものは市税、市債、国庫支出金、繰入金、寄付金で、地方交付税の減少にもかかわらず一般財源も順調に増加しています。歳出は、校舎の新・増改築、学校用地の取得など義務教育施設の整備を図るため教育費が二十九・二%、道路や街路整備のために土木費が二十三・三%となり、本年度もこの両費で四十一億四千二百六十四万円余総額の五十二・五%を占めています。

次いで民生費十二・三%、総務費十一・三%の順となっています

また伸び率では商工費、教育費、衛生費、消防費、民生費などが高くなっています。一方、投資的経費は、積極的な事業の推進によって三十九億八千九百三十九万円余で予算総額の五十・五%を占め、前年度より九億八千三百十万円余増加しました。

人件費、物件費を含めた消費的経費は二十四億九千二百六十万円余で三十一・六%、維持補修費一億二百七十二万円余で一・三%、扶助費二億六千八百三十一万円余で三・四%、公債費四億八千四百六十一万円余で六・一%となっています。特別会計は、公設総合地方卸売市場事業や、国民健康保険事業などの他に上水道事業を加えると十一会計となっています。

このうち、地域開発事業と霊園事業を除いて、いずれも前年度より予算額が増えており、総額で六十四・七%増の七十八億八千二百八十六万円となっています。

ことしの市の予算は、都市化の進展に伴う行政需要にこたえ、よりよい都市づくりのため、総額で百五十七億七千七百八十六万円、昨年に比べて三十四・八%増と成長期にふさわしい積極大型予算が誕生しました。特に国の施策の動向、経済のすう勢に十分留意し、実施計画を基本にして長期的見地から重点主義の方針を貫き、都市基盤の整備と生活環境施設の整備、社会福祉の充実が強調されています。「明るく充実した柏市」へ市民生活に一層密着した施策の実現が図られることになります。

学童保育施設を五カ所

民生費

精神薄弱児通園施設「十余二学園」が今年度から開園しましたので、これに必要な予算を計上いたしました。また肢体不自由児の機能回復訓練と体位向上を図るため、定員四十名、建築面積二百六十七平方メートルの通園施設を建設するための経費を計上いたしました

老人のレクリエーションと心身の健康増進を目的に建てられた「老人いこいの家」の運営管理と身よりのない老人の世話にあたる老人家庭奉仕員の活動費を計上したほか、ねたきり老人に対する福祉手当と見舞品支給、敬老年金を三千円から三千五百円に増額いたしました。

青少年対策については、青少年の健全な育成と地域住民の福祉増進のため引き続き青年館一館を建設するのに三百八十万円余を計上いたしました。また非行少年の早期発見、少年相談など補導センターにおける一連の少年補導活動費を計上いたしました。

保育関係では、入園児の増加に伴い保育園を一園新設するため用地取得費を計上したほか、第二、第三、第四、増尾保育園の時間外保育を実施します。これで給食と時間外保育は全園で行なわれることになります。また豊四季婦人児童センターは、前年度に引き続き零歳児託児と保育教室の開設にかかる費用を計上いたしました。

また、子どもの健やかな成長と事故防止を願い「子どもの遊び場」四カ所を設けるため四百万円を計上いたしました。

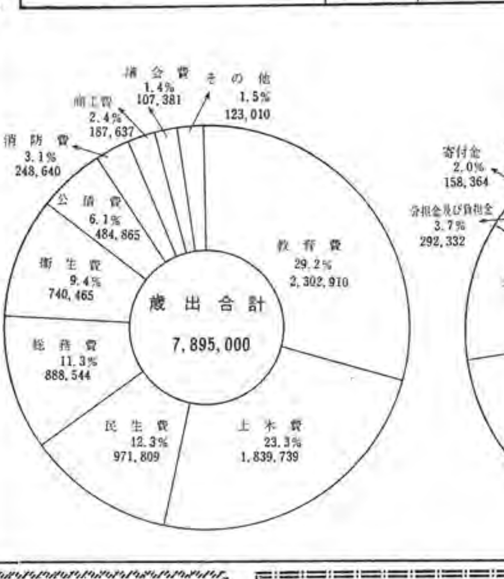
留守家庭児童の増加に対して学童保育を五カ所開設するため、四百八十八万円余を計上し学童保育を行なうことになります。

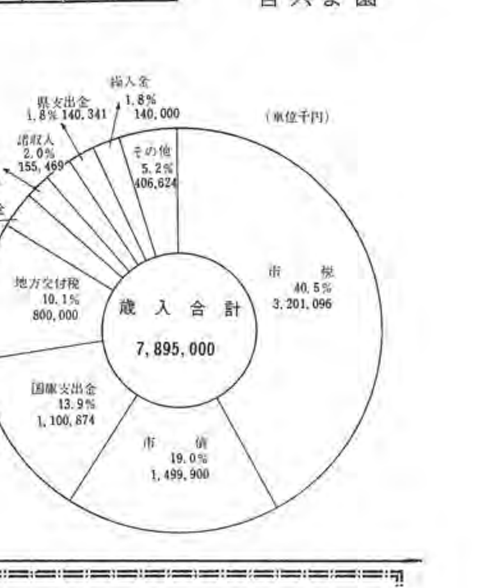
そのほか、遺児手当の増額、多子世帯に対する児童福祉手当・児童手当の支給、非行少年などの少年相談、家庭児童相談、母子家庭の救護活動などの所要費を計上いたしました。

「老人いこいの家」で碁を楽しむお年寄りのみなさん

昭和47年度　予算表

	会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率
一般会計（A）		7,895,000千円	6,210,000千円	1,685,000千円	27.1%
特別会計	国民健康保険事業	735,000	559,200	175,800	31.4
	公益質屋事業	18,550	16,970	1,580	9.3
	柏都市計画柏駅西口土地区画整理事業	4,900	4,200	700	16.7
	下水道事業	427,800	357,600	70,200	19.6
	地域開発事業	495,000	585,000	△ 90,000	15.4
	柏都市計画柏駅東口市街地再開発事業	4,768,000	2,832,000	1,936,000	68.4
	柏都市計画南柏駅東口土地区画整理事業	95,850	66,600	29,250	43.9
	柏都市計画北柏駅南口土地区画整理事業	273,630	35,700	237,930	666.5
	霊園事業	3,000	243,000	△ 240,000	△ 98.8
	柏市公設総合地方卸売市場事業	196,930	54,720	142,210	259.9
	合計（B）	7,018,660	4,754,990	2,263,670	47.6
（A）＋（B）		14,913,660	10,964,990	3,948,670	36.0
上水道事業		864,200	738,000	126,200	17.1
総計		15,777,860	11,702,990	4,074,870	34.8





社会福祉に重点

豊かな市民生活をめざして

総務費

総務費では、狭くなった市庁舎をプレハブで増設するための経費住居表示整備事業の第二年次として、市南部地域、二・一八五平方キロメートルの住居表示に必要な諸経費を計上したほか、ふえる交通災害に対処するため婦人交通指導員の増員、市民交通傷害保険についても七十五歳以上の老人については無料とすることにいたしました。

長野県菅平に建設中の市民の保養・休養施設は、今秋に完成予定ですのでこれに必要な経費を計上いたしました。

消防費

市民の生命と財産を守る消防力の充実を図るため、職員二十名を増員するほか第一出張所の移転新築工事、貯水そうを五カ所建設します。

また、レインジャー部隊の訓練経費と六百万円で救助工作車を購入して高層ビルや火災の多様化に対処いたします。

農林水産費

農業振興関係では、適地特産育成事業、野菜新興産地育成事業、かんがい施設の設置などへの補助七百二十九万円余のほか、湛水防除事業は、青山排水機場の維持管理の委託二百万円を計上いたしました。

そのほか、高田地先排水路整備ヘリコプターによる薬剤空中散布の補助などが主なものです。畜産では、家畜伝染病予防と各種予防注射について事業費の一部補助に七十万円余を計上いたしました。

また、緑地保存と病害虫防除のほか、国体記念緑化事業として市の木「かしわ」の植樹を進めるため、一般家庭用苗木六千本購入に要する経費三百万円を計上いたしました。

議会費

議会活動に必要な経費を計上したほか議会運営の円滑化を図るため、新たにテレビ放送設備を設置することにいたしました。

公債費 諸支出金

公債費は、四億八千四百万円余を計上し、大蔵省、郵政省、銀行などの借入金に対する元利支払いにあてます。また、諸支出金は、百九十万円余で、土地開発基金の利子繰出金などにあてます。

商工費

商店街振興対策として、アーケード建設に五百万円、商工会議所・商業まつり・工業展などの補助三百六十五万円計上いたしました

中小企業関係では、経営改善など事業資金の融資を円滑にするための資金預託金に六千万円のほか中小企業従業員退職金共済加入促進の助成に百二十万円を計上いたしました。

また、共同職業訓練校建設費用の一部三百五十万円を助成いたしました。消費者行政については、モニター制度の強化、消費生活展の実施など市民の消費生活の向上と商店の育成を図るため百四十万円余を計上いたしました。

小学校六校にプールを設置

教育費

教育費では、急増する児童・生徒に対処して教育施設の充実をはかるため、二十四教室を予定する柏一小分離校と、二十一教室を予定する柏二中の分離校の新設、柏三小、八小、光小、酒井根小、田中北小の増改築、柏八小、酒井根小、柏三中に屋内運動場を建設するほか柏一小、二小、三小、四小、六小、七小の六つの小学校にプールを六千六百万円で設置するとともに、土小と三小の分離校として新設校二校の用地買収費を計上いたしました。また市民の健康増進を図るための体育施設として、市民体育館用地の買収と移動図書館車を一台ふやすための経費を計上いたしました。

一般会計の主な内容

区分	内容（ ）内は金額、単位千円
交通安全対策の充実	信号機設置、警戒標識設置（47,997）
老人交通傷害保険料の無料化	75歳以上（648）
市民会館建設	大・小ホール・展示室　継続（281,620）
心身障害児福祉手当の増額	1・2級 3,000円　重度 3,000円 3・4級 1,500円　中度 1,500円（3,330）
精神薄弱児通園施設の開園	30人収容（13,296）
肢体不自由児通園施設の建設	コンクリートブロック267.3㎡（25,781）
老人いこいの家の開設	維持管理費など（612）
遺児手当の増額	（月額）幼児 1,500円 児童 2,000円　生徒 2,500円（1,590）
子どもの遊び場設置	4カ所（4,000）
時間外保育の完全実施	4園追加に伴い全園実施（2,612）
新設保育園の用地取得	2,000㎡（60,000）
学童保育施設開設	5カ所　1カ所当り20人（4,883）
清掃車輛整備（じん芥・し尿用）	新規5台　更新12台（22,349）
じん芥処理場建設	処理能力1日当り300トン　継続（338,720）
排水路整備	高田地先 200m（3,000）
商店街振興対策	アーケード建設補助カラー歩道築造（19,100）
道路新設改良	歩道・ガードレール設置他（420,517）
街路事業	南柏逆井線他（709,302）
公園施設整備	柏公園・西口第二公園他（15,000）
公営住宅建設	16戸1種住宅（58,696）
消防施設整備	第一出張所移転工事他（30,568）
小学校施設整備	新設用地2校　拡張用地1校 変電設備工事他（1,271,107）
中学校施設整備	屋外体育施設設置工事（190,994）
育英資金の改訂	（月額）高校生 3,000円 大学生 6,000円（1,764）
視聴覚ライブラリー器材充実	スライド映写器、フイルム ビデオテープレコーダー等（3,000）
移動図書館車の増車	1台（2,500）
市民体育館用地取得	（240,000）
図書購入費	（4,000）

ダストボックス百個を増設

衛生費

健康で明るい市民生活を図るため、予防衛生を一層強化することにし、予防接種器材の整備を図りさらに市民の病気予防に万全を期すため成人病の各種検診のほか、予防接種、精神薄弱症の検査などに要する経費を計上いたしました

また、日曜祝祭日に発生する救急患者の便宜を図るため、救急医院案内電話を設けることになりました。一方、増大するゴミに対処して船戸字皁瀬に処理能力一日三百トンのじん芥処理場を四十八年六月を目標に建設中ですが、これに必要な建設予算などを計上したほか、ダストボックスを百カ所に設置し、ゴミ収集車の増加も図ってまいります。

公害対策として、ばいじん測定器具などの備品を購入いたします

ゴミ収集に効率的なダストボックス

道路新設改良を四路線

土木費

今年度一般会計の二十三・三%をしめる土木費は総額十八億三千九百七十三万円余を計上、道路の新設維持改良、都市計画事業、住宅の建設に当てることになります

このうち道路の維持補修では、市道幹線の交通量が増大し破損が激しいため、日光街道など三路線の補修工事と、来年の国体の関連事業として柏駅西口から東葛飾高校までの道路整備、排水施設の管理についてバキュームダンパーを購入し重点的に側溝清掃を実施するための予算を計上いたしました

道路新設改良事業は、南柏中原線、戸張線、下大塚庚塚線、酒井根小通学路を予定しています。

防じん処理舗装は、市内全域にわたり約十万七千平方メートルを予定し一億六千万円を計上。交通安全対策整備事業は、日光街道、下手台向中原線などの通学路を整備し、学童、歩行者の安全を図ります。

下水流末整備は、今谷上南部、中新宿、豊町、篠籠田、名戸ケ谷その他を予定しています。

都市計画街路事業については、柏駅利用の通勤・通学のため、柏駅小提台線を整備するほか、立体交差は、南柏逆井線と葉山十余二線の整備を行ない市内東西の交通の円滑化を図ります。

地籍調査は、昨年度実施した調査のうち、認証事務の未完了部分と大青田の一部の面積測定とりまとめを行なうほか、逆井駅周辺地域、東台、篠籠田一部の土地区画整理事業の実施に伴う権利調査、現形測量、地区界測量などの調査を委託するため所要経費を計上いたしました。

住宅については、住宅難解消の一助として本年度も引き続き根戸高野台地区に第一種公営住宅十六戸を建設するため五千八百万円余を計上いたしました。

公園については、柏公園に市民会館と結ぶ歩道設置、柏西口第二公園にフェンス取付工事などのほか宅造によって設置された公園の整備を行なう予定です。

A・B棟ビル建設へ

東口市街地再開発

柏駅東口市街地再開発事業は、継続四カ年計画の第三年次に入っています。

現在は、区域内の建物の解体工事も行なわれ、来年九月末の完成を目ざしてA棟ビル、B棟ビルの建設も間近となっています。本年度はこの施設建築物の工事費を主に、街路、ダブルデッキなどの公共施設の工事費と工事を行なうのに必要な負担金など四十七億六千八百万円を計上いたしました。

国民健康保険事業

昭和四十七年度の歳入では、保険税が三億二千七百五十万円余と医療費の引きあげなどから昨年に比べて一億六百四十万円余の増加となっています。特に保険者の税負担を軽減するために一般会計から繰入金二千万円を計上し国庫支出金三億七千六百十万円余などあわせて七億三千五百万円となっています。

歳出では、保険給付費が、六億九千百三十一万円余となり、昨年に比べて一億六千七百六十九万円余ふえています。これはことし二月から実施された医療費の実質十二%分引きあげによるものです。

地域開発

工業団地造成事業に関連した団地周辺道路の整備を図るため、その用地買収費と工事費を計上しています。

また団地内の下水処理場の施設として、いつも一定の汚水流水量を保つ水質水量調整池の築造費を計上して汚水処理に万全を図ることにしています。

北柏駅南口土地区画整理

今年度は、事業計画の決定によって、一部の工事も着手の予定で事務が進められています。

ここでは主として移転物件調査の委託料と、事業の推進を図るため北柏駅前に設置する現地事務所の経費など昨年より二億三千七百九十万円余多い二億七千三百六十三万円を計上いたしました。

西口土地区画整理

西口区画整理事業は、事業の最終段階にあり、保留地処分金や清算金の徴収などの事務に必要な経費四百九十万円を計上いたしました。

公設総合地方卸売市場

市場事業は、自家発電設備や水産売場棟の増設と内装工事にかかる経費など総額一億九千六百九十三万円となっています。

公益質屋事業

この事業は、利用者の増大にともない、貸付金の増額をはかり、総額一千八百五十五万円となっています。

南柏駅東口土地区画整理

今年度は、換地設計や仮換地の指定に必要な費用とこれにともなう物件の補償費など、九千五百八十五万円を計上いたしました。

下水道

下水道事業は、市内篠籠田の終末処理場の建設と管渠の布設整備のために、三億四千九百三十五万円余。

また、手賀沼流域下水道事業負担金とこの計画に基く経費などを加え総額四億二千七百八十万円を計上いたしました。

上水道事業

上水道事業は、今年度が第二次拡張事業の第四年次にあたり、各水源地の取水・導水・浄水・配水施設の拡張改良工事、配水管布設工事などのため総額八億六千四百二十万円を計上いたしました。

霊園事業

今年度は基本調査費を計上いたしました。

小金原

六　小金牧の開墾

「武士にあらざれば人にあらず」と言われた徳川身分制度も明治維新によって改革され、四民平等への第一歩をふみだすことに成功しました。しかし東京と名称を変えた江戸の町々には生活の手段を失い行方を見失った士族や困窮した庶民があふれ至急の対策にせまられました。

明治元年十二月、窮民を救うため東京府下の豪商に下総牧々の開墾を奨励しましたが、民間の事業としては膨大な費用と困難をともなうことが予想され、応募者はなかったと言われます

開墾事業を委託された東京府は、明治二年三月開墾役所（後開墾局）を設置し、現地の葛飾県と直ちに協議を重ね、四月二十二日開墾大意を作成し事業遂行の機関として民間の開墾会社を設置することを企画し、政府に進言しました。

その後、スムーズな事務連絡をはかるため、政府は新たに民部官（後民部省）直轄の開墾局を設置し、二十万両の資金を下渡し、明治二年五月三井八郎右衛門を惣頭取に、他十数名を頭取に任命し開墾会社を設立させ事業に着手させました。

開墾局は「窮民授産取扱内則」を定め、窮民に対し三カ年の衣食住を始め、すべての授産向きを会社にて世話をする。また手作地は一人につき五反歩とし他に宅地として一軒に五畝歩の土地を割り当てるなどの救済方法をくわしく規定しました。

東京府は、開墾地移植志願者を数回にわけて公募することになり、一万人を予定しましたが実際には八千人弱に終わりました。

これらの窮民を一人前の独立農夫に仕上げることは非常な困難を要することであり、まず旧藩邸跡に集め職業訓練から始めなければなりませんでした。

大工仕事、機織、簑・笠作りなどの作業を四～六カ月に渡って授けました。後年、豊四季に根を下した木釘作りもここで修得したものではないでしょうか

明治二年十月、いよいよ下総牧々への移植が開始されましたこの地は一面の曠野で、刀以外もったことのない士族たちにとって鍬や鎌をもっての開墾は容易なことではありませんでした

最初に移植をしたのは中野牧で、字名として初富と称しました。「初」は一と言うことで以後移植した牧々も数字をもって当てられ、明治四年の中ごろには二和、三咲から十余三までの十三の集落が成立しました。

柏においては二つの村が誕生することになります。上野（豊四季）高田台（十余二）両牧が三井八郎右衛門の引請地になり原野掛が置かれ、指揮監督のもとに開墾が始められました。

豊四季は四番目に移植を開始した集落と言うことで、明治二年十一月十七日、二十九日、十二月十六日の三回にわたって百十二戸四百二十九人の移植がありました。府下から豊四季に移植した窮民の大部分は元武士で下谷元津藩の藤堂邸跡に設けられた授産所から送られてきました。

一方、捕馬の遅れた十余二は十二番目の移植地であり、明治四年二月二十七日、七戸二十五人が府下から移植しました。

開墾会社では、初期の約束に反して佐倉七牧の中で小間子、取香の二牧が引渡されずそれに加えて、享保以来牧付村々の新田として開発された場所が多く実際の面積は約四分の一の一万百七十町歩に過ぎませんでした

同年七月九日の大風雨によって小金、佐倉牧の農舎の大半がつぶされるなど修繕やその他の貸金の費用がかさみ、先に渡された二十万両も底をつき、事業継続がむずかしくなり遂に七月約束の二牧の引渡しと政府の融資を歎願しなければなりませんでした。再三の歎願にもかかわらず政府からは協議中と言うだけで何の返答もなく、明治五年三月開墾会社は事業の放棄を訴えるに至りました。

一方、東京府は廃藩置県が実施され郡県制が定められたのを機会に小金、佐倉牧の開墾事業を管轄庁である印旛県へ引渡すべく協議を重ねました。その結果印旛県も開墾事業の実際を知り、引き受けに難色を示しました。

ここに政府は一大決断をもって印旛県へ開墾事業の引き受けを命令し、開墾会社が最後に歎願した基立金二十万両の返済免除、小間子牧の引渡しおよび移植窮民を独立農夫とするという条件をいれ、開墾事業に終止符を打つことになり、明治五年五月開墾会社は解散しました。

（市史編さん係）

豊四季に建つ開拓記念碑

ご相談ください

療育としつけの仕方

お子さんの身体やしつけについて悩んでいるかたはいませんか。柏保健所では毎月一回療育相談としつけ相談を行なっています。ぜひご利用ください。

療育相談

○相談日　毎月第三水曜日（午後1時から2時30分まで受け付けます。）

しつけ相談

○相談日　毎月第一木曜日（午前9時30分から10時30分まで受け付けます。）

○しつけ相談は、前もって電話で申し込んでください（67－1258）

○母子健康手帳を持参ください。

ご協力ください

ゴミの収集

市では、ゴミの収集処理を円滑に行なうため、ゴミの集積場所と日時をきめて、家庭から出るゴミは容器に入れてだしていただいています。

明るい生活環境づくりにゴミの集積については次のことにご協力ください。

○きめられた集積場所には、収集する日以外の日には、ゴミやゴミ容器を出さないでください。

○紙クズなど燃えるゴミとビン、あきかん類の燃えないゴミは分けて容器に入れふたをしめて出してください。

○ゴミの収集が終わった後はすぐに容器を回収してください。

○冷蔵庫、タンスなどの大型ゴミの収集は、町会や組、班などの要請によって実施していますので、事前に市役所業務第二課（内線二四七）へ連絡してください。

地価のバロメーター

――47年度――

標準価格決まる

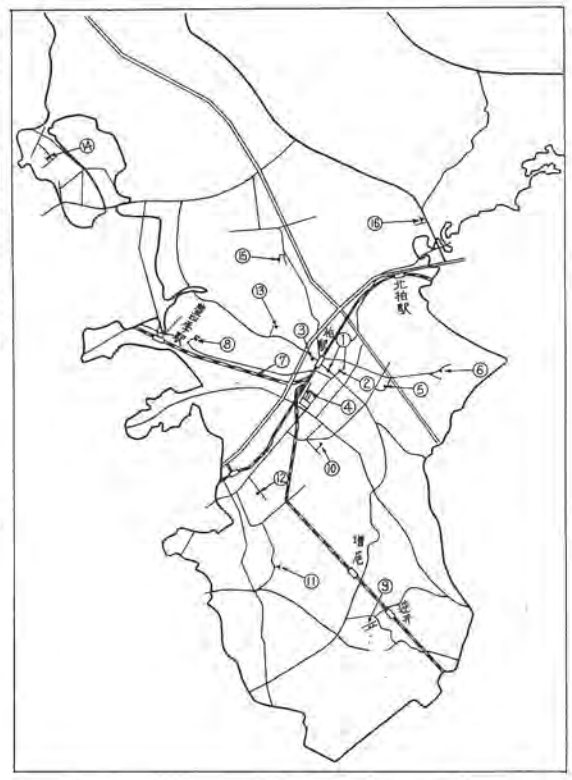
昭和四十七年度柏市内十六カ所の標準地価がこのほど建設省から発表されました。

この土地公示価格は、都市やその周辺の市街化区域について標準地を選び、適正な価格を皆さんにお知らせして一般の土地の取引きの目安としたり、公共的な事業を行なう場合の適正な補償金を割り出す資料となるものです。

柏市の標準地価は、昨年にくらべて十三から二十八％上昇していて全国平均の十二・三％を上回る伸びを示しています。四十六年度とくらべ一番の伸びをみせたのは東台本町で二十八・三％、逆ば柏二丁目の十三・二％の伸びとなっています。

（一平方メートル当りの価格）

①柏二丁目四番二六号商業・防火地域　六十七万五千円
②柏二丁目五番六号商業・防火地域　三十万円
③旭町二丁目一番八号商業・準防火地域二十五万五千円
④泉町八番一五号住居地域四万四千八百円
⑤東台本町二番十号住居専用地区三万六千三百円
⑥戸張字宿畑一二三三番四住居専用地区二万五百円
⑦旭町七丁目三番三〇号住居地域二万六千円
⑧豊四季字庚塚三三一番二七及び三二住居専用地区　二万二千円
⑨逆井字外和戸一〇五一番八三住居専用地区　二万三千八百円
⑩ひばりが丘六七四番三六七住居専用地区　四万円
⑪中新宿字中谷津台一七五番二三住居専用地区　三万五千円
⑫今谷上町字並木通二五番一〇及び一三住居専用地区　三万七千円
⑬明原三丁目六番七号住居専用地区　四万五千円
⑭十余二字中原五七六番三六〇住居地域　一万九千七百円
⑮高田字東下ノ台一〇一一番三七住居地域　二万四千円
⑯根戸字高野台四七一番三二及び六一住居地域　二万三千円



車イスをどうぞと

大島さんが寄贈

市役所をおとずれる足の不自由な人たちが気軽に用事をたせるようにと、去る三月二十九日大島正信さん（市内あかね町）から車イスの寄贈がありました

この善意のプレゼントは、大島さんが私用で来庁した時、車から降りてくる体の不自由な人をみて思いたったものです。

身障者の皆さんは、手帳の書きかえなどで市役所を訪れる機会も多く、市ではさっそく玄関受付けに備えて利用してもらうことにしています。

ご苦労さまでした

町会長として13年

仲　善吉さん

多年にわたり町会長として地域の発展に尽くしてこられた功績で、仲　善吉さん（七十一歳＝柏市柏一―六一二）が三月二十五日市長から感謝状と記念品を贈られました。仲さんは、二十七歳のころから町会に奉仕され、昭和三十四年以来柏三区二丁目の町会長として、市民と行政を結びつけてきました。この努力のため今回の受賞となりましたが、老齢のため三月三十一日をもって退任されました。

おめでとう新一年生

西原小・三中も開校

さあ、きょうからうれしい一年生。去る四月七日は市内十六の小学校でいっせいに入学式が行なわれました。今度新しく一年生になったよい子は、三千四百六十九名と、昨年にくらべて二百三十三名も多くなっています。

お母さんに手をひかれて登校した新一年生は、最初は少しとまどい顔。

それでもすぐに隣りの子と仲よく話しするなど物おじしない現代っ子らしい一面をのぞかせていました。

通学学距離の関係で流山の小学校へ行っていた十余二地区の一部の児童は去る六日、新しくできた西原小学校で始業式を迎えました。

また柏第三中学校も開校して市内で小学校が十六校中学校七校になりました。

元気に入学した三小のよい子たち

農地の小作料

この額を参考にして

農地の賃貸借を行なう場合の小作料は、農地法の改正によって地主と小作人の間で自由にきめることができるようになっています。

この小作料を決める目安として市農業委員会では、小作料の標準額を四月一日から次のように定めました。

○標準小作料、年間十アール当り

田一万円、畑八千円となっており、なお、昭和四十五年十月一日以前に賃貸借契約をして、その契約期限が昭和五十五年九月三十日以後のものについては小作料の変更はできません。

しかし、この期限以内の契約は更新の時にお互いの話し合いによって変更することができます。

今後小作契約を結ばれるかたはこの額を参考にして正しい契約をしてください。

寄ぜられた善意

三月十三日から四月四日まで

三月十三日から四月四日までに市社会福祉協議会や老人施設、四月から開園した精薄通園施設の十余二学園へ、次のかたから善意の寄付がありました。

ありがとうございました。

○市立柏中学校二年二組二千五百三円
○寺山時二さん（柏六九〇）三千円
○伏田晨和さん（十余二四九）二千円・幼児衣類
○代表・鈴江啓子さん（明原三丁目）四百二十五円

より充実した市民サービスに

市役所機構改革

去る四月一日、市役所では、いっそうの市民サービスを図るため次のように機構を改め、合わせて人事異動も発令されました。

市の組織では、広報課が広報広聴課となって、新たに市民の意識調査などを行なう広聴係が設けられました。

民生部は、従来の保険年金課と青少年対策本部を設けた青少年課福祉事務所のほかに、市民課と児童施設課（保育園）が加わり、新設された衛生部は、従来の公害課に、伝染病の予防などの生活環境を守る衛生課、し尿処理の業務第一課、じん芥処理の業務第二課という組織になっています。経済部では、公営市場が名称を公設総合地方卸売市場と改めて経済部から独立し、商工課に新たに消費対策係が設けられて、振興課がなくなっています。

建設部では、従来の監理課、土木課、建築課、下水道課のほかに計画第一課が都市計画課と改められ、地域開発を指導する指導係が設けられています。

都市開発部は、今までの都市再開発部の三課のほかに、北柏区画整理を行なう区画整理課と南柏土地区画整理を行なう南柏都市改造事務所となっています。これによって駅前再開発を行なっている再開発現地事務所は、今月八日から市役所三階大会議室で執務を行なっています。

総務部では、昭和四十八年の国体に備えて、国体事務局を新設しました。

課長以上の人事異動は次のとおりです。

▲公設総合地方卸売市場長　鈴木　真　▲消防長　宮本富之助　▲衛生部長（兼）業務第一課長事務取扱　関口福司　▲都市開発部長　平川　博　▲建設部長　渡辺一雄　▲都市開発公社専務理事　津金　信　▲都市開発部次長　内藤啓生　▲教育次長　古谷武雄　▲衛生部業務第二課長　武内成吉　▲建設部土木課長　渡辺哲男　▲都市開発部南柏都市改造事務所長　浅野直一　▲都市開発部南柏都市改造事務所主幹　泉水堯和　▲国体事務局主幹　熊倉秀之　▲教育委員会事務局営繕課長　平野弘人　▲教育委員会事務局社会教育課長　稲飯忠正

また、さる三月三十一日付で教育次長（栗原勝見）と社会教育課長（山田政義）、土木課長（笹原武彦）が退職しました。

おしらせ

必ず受けて
三種混合予防接種

ジフテリア・百日咳・破傷風の三種混合予防接種を次のとおり行ないますので該当者はもよりの会場で必ず受けてください

○該当者　①第一期二回目（初回免疫）　昭和四十六年七月一日から十二月三十一日までに生まれたもの　②第二期（追加免疫）　初回免疫（三回）終了後十二カ月から十八カ月までのもの

○費用　無料

実施会場	実施月日
田中農協 新青田青年館 富勢小学校	4月24日
土小学校 光ケ丘集会所	25日
土南部小学校 第三小学校 柏陽幼稚園	26日
荒久山子どもの家 中央公民館	27日
豊四季団地集会所 第四小学校	28日

◎受け付け　午後1：30～2：30

日曜当番医の変更

日曜救急当番医のうち、五月十四日の石原産婦人科（緑ケ丘電話67―三八〇一）が六月二十五日に、また六月二十五日の長屋産婦人科（光ケ丘電話72―五〇一七）が五月十四日に変更になります。

おまちがいのないようにしてください。

北柏区画整理現地事務所を開設

北柏駅南口の区画整理事業は順調に進んでいますが、さらにこの事業の円滑な推進を図るため区域内の南口広場にこのほど現地事務所を設置しました。

この事務所には担当の職員が常駐して業務に当たっています

○住所　柏市根戸中場一八八八の三番地先　○名称　北柏駅南口土地区画整理事業現地事務所

図書貸し出し券は再交付を受けて

市立図書館の図書貸し出し券は、今月から新しくなりました

今まで登録していたかたは、前の貸し出し券と住所を証明するものを持参して、再交付を受けてください。

なお、今後は代用券の使用はできませんので毎回貸し出し券を持ってきてください。

また移動図書館は、祭日と月の末日が定休日になり、それ以外の日でも雨や強風で野外の貸し出しが無理なときはお休みします。

詳しくは市立図書館（六四―五三四六）へお問い合わせください。

市指定水道工事店の取り消し

日管工業株式会社（豊四季八一四）は、三月三十一日で会社を閉鎖しましたので市指定の水道工事店から取り消しとなりました。

歩け歩け運動ふるって参加を

市では、今月十六日に、自然の中で親しみながら体力づくりをする「歩け歩け運動」を行ないます。

どなたでも参加できますのでふるっておいでください。

○集合場所　午前十時までにあけぼの山公園、ただし公園まで行くのに遠い人は市役所前広場へ午前九時半までにおいでください、バスで送ります。

○コース　あけぼの山公園から利根川堤を通る往復七キロメートル、解散は午後三時の予定。

当日は、お弁当を用意してください。なお、雨天の時は中止とします。

でんわ

市役所	67―1111
柏駅行政連絡所	64―4131
柏駅連絡所	64―4132
出張所	66―3811
豊四季団地	72―2702
光ケ丘中	31―5702
田中勢	31―6622
富勢	72―4802
土	66―2191
水道部	67―2224
中央公民館	67―5637
消防本部	64―5346
市立図書館	

旬間交通事故

47年3月16日～31日

市内		計	
36件	死者	2	4
	負傷	54	263
累計			
202件	死者	4	
	負傷	263	

カッとする心の動きが事故のもと